

青森県報

第 七 十 一 号

令 和 八 年
五 月 二 十 九 日
(金 曜 日)

目 次

告 示

○ 救急病院の設置…………… (医 療 薬 務 課) …… 一
 ○ 漁業災害補償法による加入区の設定の一部改正…………… (水 産 振 興 課) …… 一

公 告

○ 毒物劇物取扱者試験の施行…………… (医 療 薬 務 課) …… 二
 ○ 大規模小売店舗の変更の届出…………… (地 域 企 業 支 援 課) …… 二
 ○ 右 同…………… (同) …… 三
 ○ 右 同…………… (同) …… 四
 ○ 農用地利用集積等促進計画の認可…………… (構 造 政 策 課) …… 五
 ○ 県営土地改良事業計画の変更の決定…………… (農 村 整 備 課) …… 七
 ○ 右 同…………… (同) …… 八

出 先 機 関

○ 土地改良区の役員の就任…………… (西 北 農 林 水 産 事 務 所) …… 八
 ○ 右 同…………… (同) …… 八

教 育 委 員 会

○ 青森県教育委員会会議規則の一部を改正する規則…………… (教 育 政 策 課) …… 九

告 示

青森県告示第三百三十二号

救急病院等を定める省令 (昭和三十九年厚生省令第八号) 第一条第一項の規定により、次のとおり救急病院及び救急診療所を認定したので、同令第二条第一項の規定により告示する。

令 和 八 年 五 月 二 十 九 日

青 森 県 知 事 宮 下 宗 一 郎

名 称	所 在 地	認 定 の 有 効 期 限	救 急 病 院 、 救 急 診 療 所 の 別
国民健康保険南部町医療センター	三戸郡南部町大字下名久井字白山八七の一	令和十一年五月三十一日	救急病院
はちのへハートセンタークリック	八戸市田向二丁目一の一	令和十一年五月三十一日	救急診療所

青森県告示第三百三十三号

昭和三十九年九月六日青森県告示第六百六十六号 (漁業災害補償法による加入区の設定) の一部を次のように改正する。

令 和 八 年 五 月 二 十 九 日

青 森 県 知 事 宮 下 宗 一 郎

一の 1 中「小泊加入区」を「小泊第一加入区」に、「小泊漁業協同組合」を「旧小泊漁業協同組合」に、「下前加入区」を「小泊第二加入区」に、「下前漁業協同組合」を「旧下前漁業協同組合」に改める。

一の 2 中「小泊加入区」を「小泊第一加入区」に、「小泊漁業協同組合」を「旧小泊漁業協同組合」に、「下前加入区」を「小泊第二加入区」に、「下前漁業協同組合」を「旧下前漁業協同組合」に改める。

二の表小泊区域の項を次のように改める。

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年五月三十日から同年六月十八日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

県営土地改良事業計画の変更の決定

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第八十八条第一項の規定により、アグリタプコピア地区の県営土地改良事業（中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備））計画を変更したので、同条第六項において準用する同法第八十七条第五項の規定により公告し、次のとおり縦覧に供する。

なお、この土地改良事業計画の変更については、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に知事に対して審査請求をすることができる。

このほか、この土地改良事業計画が変更されたことを知った日の翌日から起算して六月以内に、県を被告として（知事が被告の代表者となる。）、その取消しの訴えを提起することができる。ただし、縦覧の期間満了の日の翌日から起算して十五日以内に審査請求を行った場合には、土地改良事業計画の変更の取消しの訴えは、その審査請求に対する裁決があつたことを知った日の翌日から起算して六月以内に提起しなければならぬこととされている。

令和八年五月二十九日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 縦覧に供する書類

土地改良事業計画書の写し

二 縦覧の期間

令和八年五月三十日から同年六月十八日まで

三 縦覧の場所

青森県庁農村整備課ウェブページ

出 先 機 関

土地改良区の役員の内任

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第十八条第十八項の規定により、大田光土地改良区から、次のとおり役員の内任の届出があつたので、同条第十九項の規定により公告する。

令和八年五月二十九日

青森県西北農林水産事務所長 館 山 元 春

役員の内任	氏 名	住 所	就任の年月日
理事	工藤 広貴	つがる市下牛潟町鶴舞岬二二三の四	令和八・四・二

土地改良区の役員の内任

土地改良法（昭和二十四年法律第九十五号）第十八条第十八項の規定により、小田川土地改良区から、次のとおり役員の内任の届出があつたので、同条第十九項の規定により公告する。

令和八年五月二十九日

青森県西北農林水産事務所長 館 山 元 春

役員の内任	氏 名	住 所	就任の年月日
理事	原田 優子	五所川原市金木町中柏木鎧石一二二の一	令和八・四・一

県営アグリタプコピア地区土地改良事業計画書

第1回変更

(中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）)

青 森 県

3.	客 土	2 8	第 6 章	附 帯 工 事 計 画	3 2
4.	農 地 保 全	2 8	第 7 章	工 事 の 着 手 及 び 完 了 の 予 定 時 期	3 2
第 8 節	老 朽 た め 池 改 修 計 画	2 8	第 8 章	環 境 と の 調 和 へ の 配 慮	3 2
1.	洪 水 吐 改 修 計 画	2 8	第 9 章	換 地 計 画 の 概 要	3 3
2.	堤 体 補 強 計 画	2 8	第 1 節	換 地 計 画 を 作 成 す る 上 で の 基 本 的 な 考 え 方	3 3
3.	取 水 施 設 改 修 計 画	2 8	第 2 節	換 地 区 の 設 定	3 3
第 5 章	主 要 工 事 計 画	2 9	1.	換 地 区 の 名 称 ・ 所 在 ・ 面 積	3 3
第 1 節	用 水 施 設	2 9	2.	換 地 区 を 設 定 す る 理 由	3 3
1.	貯 水 池	2 9	第 3 節	換 地 計 画 樹 立 の 基 本 方 針	3 3
2.	頭 首 工	2 9	1.	従 前 の 土 地 の 地 積 の 基 準	3 3
3.	揚 水 機	2 9	2.	用 途 別 予 定 地 積	3 3
4.	用 水 路	2 9	3.	農 用 地 集 団 化 の 方 針	3 3
第 2 節	排 水 施 設	3 0	4.	非 農 用 地 換 地 の 方 法	3 3
1.	排 水 水 門	3 0	第 4 節	土 地 の 評 価 及 び 清 算 の 方 法	3 3
2.	排 水 機	3 0	1.	評 価 の 方 法	3 3
3.	排 水 路	3 0	2.	清 算 の 方 法	3 3
4.	そ の 他 排 水 施 設	3 0	第 5 節	換 地 計 画 樹 立 の 年 度 計 画	3 3
第 3 節	道 路	3 1	第 1 0 章	事 業 費 の 総 額 及 び 内 訳	3 4
1.	道 路 の 総 括 表	3 1	第 1 1 章	効 用	3 4
2.	道 路 主 要 構 造 物	3 1	第 1 2 章	関 連 す る 事 業	3 5
第 4 節	洪 水 調 節 施 設	3 1	第 1 3 章	現 況 ・ 計 画 図 面	3 5
1.	貯 水 池	3 1				
2.	頭 首 工 及 び 導 水 路	3 1				
第 5 節	農 用 地 整 備 施 設	3 1				
1.	区 画 整 理	3 1				
2.	暗 渠 排 水	3 1				
3.	客 土	3 1				
4.	除 礫	3 1				
5.	農 地 保 全	3 2				
第 6 節	老 朽 た め 池 改 修 施 設	3 2				
1.	貯 水 池	3 2				
2.	堤 体 補 強 施 設	3 2				

第 1 章 目 的

田子町は、青森県の最南端に位置し、南は岩手県二戸市及び八幡平市、西は秋田県鹿角市に隣接しており、北及び東は三戸町とそれぞれ接している。

中央部から東部にかけての丘陵地帯は、主に畑地として利用され、総面積の約8割が山林原野で覆われている。この山並みを源とする熊原川、相米川、種子川が町を四分する形で東方に流れ、これらの流域に沿った平地に水田が拓けており、本町の農業は水稻、野菜、畜産を組み合わせた複合経営が古くから営まれている。

本地域の農業用排水路は、多くは整備済みであるものの老朽化が著しい状況である。そのため、漏水が多く、用水の安定供給に支障を来していることに加え、洪水時に土羽が崩落する個所があるため、日常の維持管理とともに、多くの労力と費用を費やしている。

緊急性の高い4路線を整備することで、用水の安定的な供給による干ばつ防止と維持管理の省力化を図るとともに、周辺農地の保全を図り、農作業の合理化と農業生産性の向上に資するものである。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

地 域
三戸郡田子町

第 2 節 地 積

(令和7年12月現在) (第2表)

現状地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
三 戸 郡 田 子 町	98.7	1.3	—	—	—	100.0	

第 3 章 現 況

第 1 節 気 象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	三戸地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	平成27年～令和6年	5月～9月	10月～4月		
平均気温(°C)		19.7	4.2	10.7	
降水量	平均(mm)	665	487	1,152	
	基準年(mm)	623	468	1,091	令和6年
降水日数	平均(日)	52	72	124	
	基準年(日)	52	75	127	令和6年
根雪期間		12月25日～	2月28日	66日間	
無霜期間		5月19日～	10月9日	145日間	
最多風向		SW	最大風速 (風向)	10 m/s (SW)	最多風向発生時期 1月～12月 最大風速発生年月日 令和5年11月7日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 三戸地域気象観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備 考
	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	数量	年月日	発生率	
観測期間 昭和26年～令和6年																
最大日雨量(mm)	238	H11.10.28	1/846	154	H16.9.30	1/70	151	H2.10.26	1/57	145	H18.10.7	1/32	126	S61.8.5	1/15	
最大時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大4時間雨量(mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量(mm)	281	S42.9.11 ～ S42.9.22	1/57	257	H11.10.27 ～ H11.10.30	1/35	245	S33.7.22 ～ S33.7.29	1/27	233	H23.9.17 ～ H23.9.23	1/21	232	R2.6.30 ～ R2.7.16	1/21	
最大連続干天日数(日)	45	H19.5.1 ～ H19.6.14	1/92	42	H18.5.1 ～ H18.6.11	1/60	35	S48.6.24 ～ S48.7.28	1/20	35	H9.6.30 ～ H9.8.3	1/20	34	H1.7.13 ～ H1.8.15	1/17	

第 2 節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

地 目	田						畑						受益地標高 (m)		備 考
	1/1,000 未満	1/1,000 ～ 1/100	1/100 ～ 1/20	1/20 ～ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 未満	3° ～ 8°	8° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
面積 (ha)	—	—	70.2	28.5	—	98.7	—	—	—	1.3	—	1.3	205.0	77.0	
比率 (%)	—	—	71.1	28.9	—	100.0	—	—	—	100.0	—	100.0			

(第4表-1-2)

項目 土壌統 (区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表							面 積 (ha)	備 考
	土 壤 断 面								
	色	腐 植	礫 層	土 性			泥炭層黒泥層 及びグライ層		
				表 土	下 層 土				
一 層				二 層	三 層				
野沢平統	7.5YR2/2 …表土	頗る富む …表土	なし	L	L	FS	なし	43.2	水田土壌 多湿黒ボク土壌
	7.5Yq3/2 …下層土	富む …下層土							
根岸統	7.5YR2/3 …表土	頗る富む …表土	なし	LiC	LIC	SL	30cm以深黒泥層及 び泥炭層	29.8	水田土壌 低地泥炭土壌
	7.5YR2/3 …下層土	頗る富む …下層土							
剣吉統	7.5YR2/3 …表土	含む …表土	なし	L	L	S	なし	27.0	水田土壌 灰色低地土壌
	7.5YR2/2 …下層土	富む …下層土							
計								100.0	

2. 土地利用の状況

(令和7年12月現在) (第4表-2)

市町村名	土地利用別 水田 (ha)	耕地					小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		畑										
		普通畑 (ha)	果樹園 (ha)	牧草地 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)						
三戸郡田子町	98.7	1.3	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	

3. 土地所有の状況

(令和7年12月現在) (第4表-3)

区分	所有別	個人有	共有	国有	市町村有	計	備考
面積	(ha)	100.0	—	—	—	100.0	
受益者数	(人)	223	—	—	—	223	
筆数	(筆)	534	—	—	—	534	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

本地区の農業用水は、一級河川馬淵川水系杉倉川及び熊原川を取水源としており、取水施設から自然流下により導水している。

(1) 用水系統

現況用水系統模式図 (P.6~7参照)

(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
	500ha以上		500ha~100ha		100ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s	
貯水池	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
井堰	-	-	-	-	3	84.6	3	84.6	-	-	3	0.643	0.643	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	-	-	-	-	3	84.6	3	84.6	-	-	3	0.643	0.643	

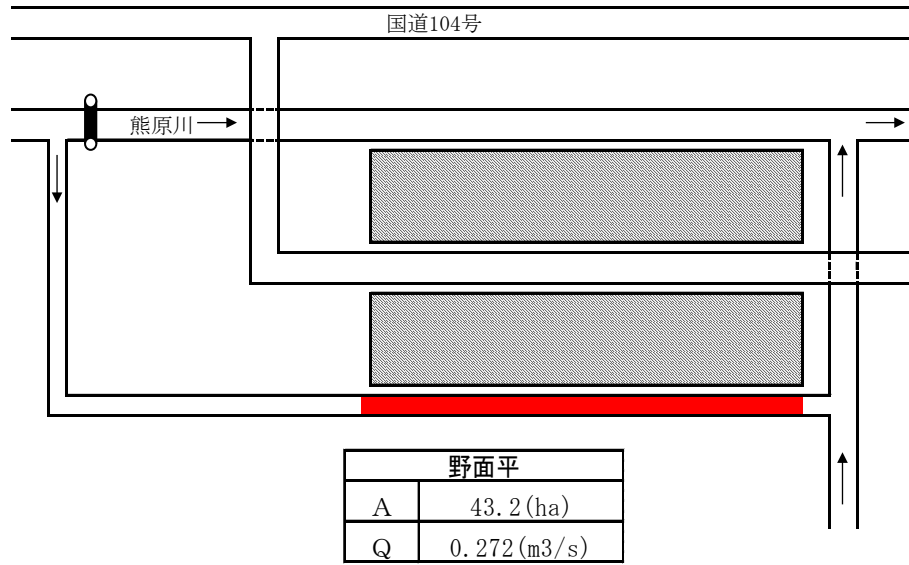
(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

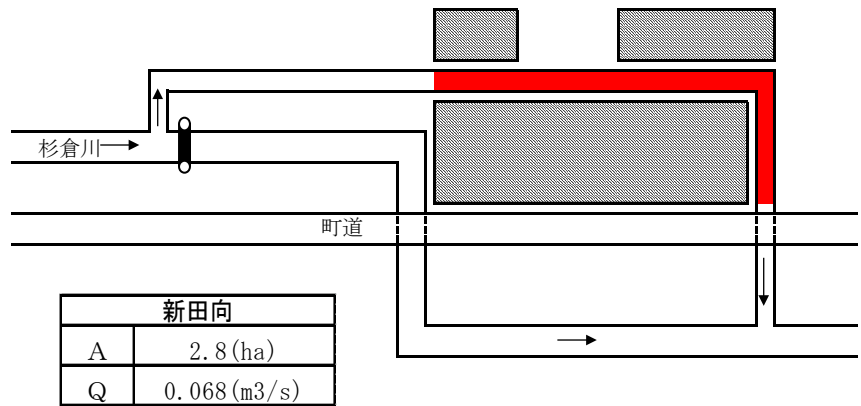
項目 施設名	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は更新年	改修を必要 とする理由	備考
貯水池	-	-	-	-	-	-	
井堰	-	-	-	-	-	-	
自然取水口	-	-	-	-	-	-	
揚水機	-	-	-	-	-	-	
用水路	4	84.6	土水路、コンクリート2次製品	2,856.0m	不明	老朽化	
その他	-	-	-	-	-	-	
計	4	84.6					

現況用水系統模式図

野面平

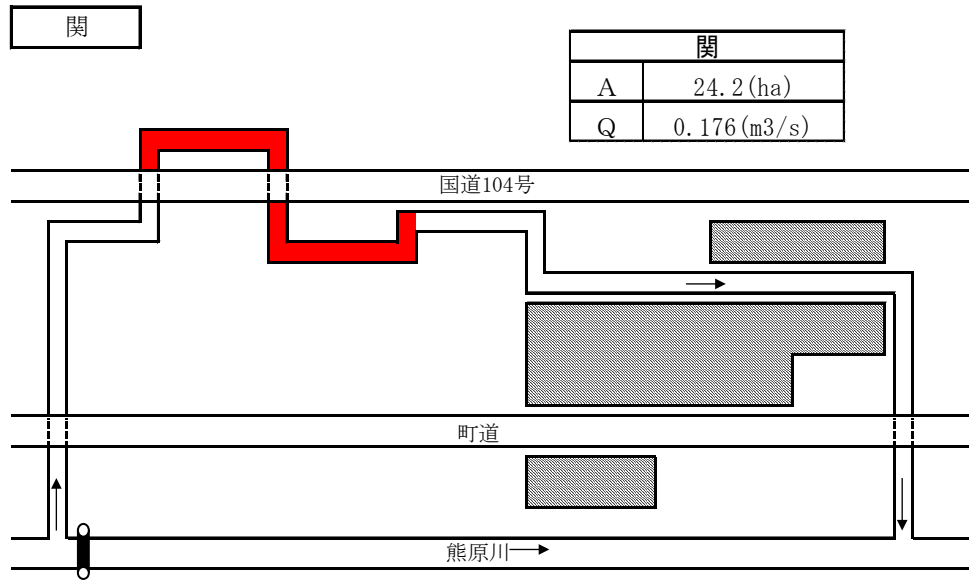


新田向

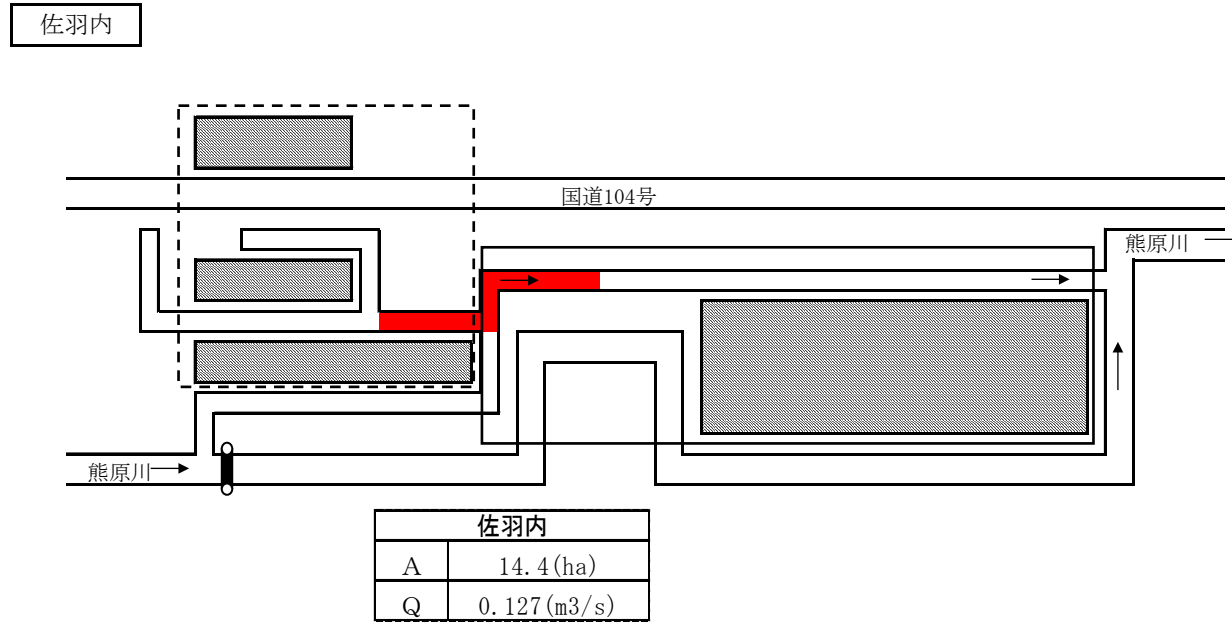


凡例	
A	支配面積 (ha)
Q	用水量 (m³/s)
	支配面積
	現況水路

現況用水系統模式図



凡例	
A	支配面積 (ha)
Q	用水量 (m ³ /s)
	支配面積
	現況水路



凡例	
A	支配面積 (ha)
Q	用水量 (m ³ /s)
	支配面積
	現況水路
	用水路受益地
	排水路受益地

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

該当なし

(イ) その他被害状況

該当なし

2. 排水状況

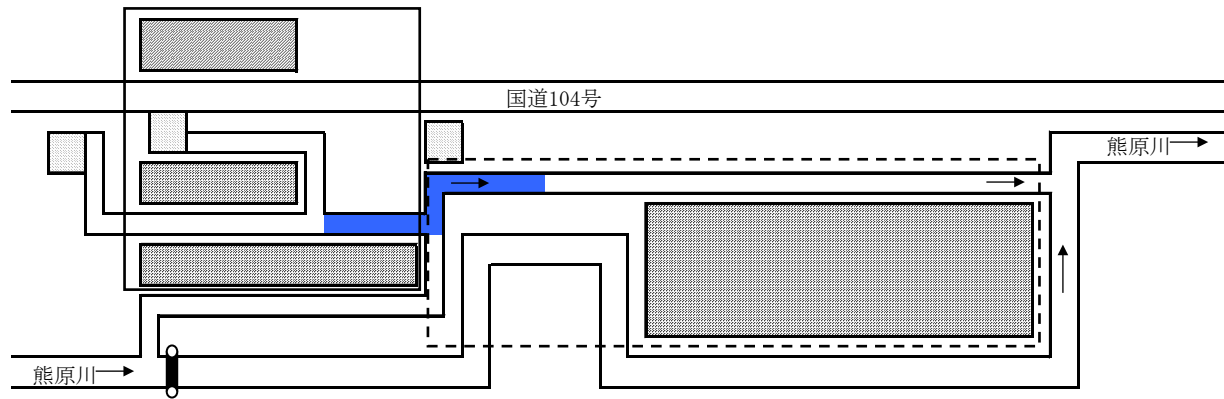
本地区の農業排水は受益地内を流下し、直下流の排水路及び馬淵川水系熊原川へ自然排水している。

(1) 排水系統






現況排水系統模式図 (P. 9参照)

現況排水系統模式図

佐羽内



佐羽内	
CA	0.164(km ²)
A	15.4(ha)
Q	0.445(m ³ /s)

凡例	
CA	流域面積(km ²)
A	受益面積 (ha)
Q	1/10計画排水量(m ³ /s)
	流域面積
	支配面積
	計画水路
	排水路受益地
	用水路受益地

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

施設名		項目		排水面積				計		排水慣行	現況排水能力	備考
				500ha以上		500~100ha以上						
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
自然	排水路	—	—	—	—	1	15.4	1	15.4	0.445	0.445	
	水門	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
機械	排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	水門及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	排水路及び排水機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計		—	—	—	—	1	15.4	1	15.4			

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

施設名		項目	施設名 又は箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年 又は更新年	改修を必要 とする理由	備考
自然	排水路		1	15.4	コンクリート2次製品	300m	不明	老朽化	
	水門		—	—	—	—	—	—	
機械	排水機		—	—	—	—	—	—	
	水門及び排水機		—	—	—	—	—	—	
	排水路及び排水機		—	—	—	—	—	—	
計			1	15.4					

(3) 排水に関する被害状況

該当なし

3. 河川状況

(1) 河川状況

該当なし

(2) 洪水に関する被害状況

該当なし

4. 想定被害状況

該当なし

第4節 道路現況

1. 道路概況

該当なし

2. 主要道路一覧表

該当なし

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動 産業	サービス業	公務	その他	備考
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
三戸郡田子町	2,732	888	71	0	3	270	343	2	128	348	22	5	538	114	0	
比率 (%)	100.0	32.5	2.6	0.0	0.1	9.9	12.5	0.1	4.7	12.7	0.8	0.2	19.7	4.2	0.0	

e-Stat>統計データ>ファイル>国勢調査>令和2年国勢調査>就業状態等
基本集計より

2. 経営耕地広狭別農家数及び専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家 総戸 数 (戸)	経営耕地広狭別農家数(戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						専兼業別農家数(戸)		備考			
		例外規定の適用 を受けるもの											田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	専 業	兼業				
			0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 以上	自給的 農家								第一種		第二種		
三戸郡田子町	551	0	43	117	66	54	74	51	19	5	5	117	0.83	0.85	0.03	1.71	0.7	2.45						
比率 (%)	100.0	0.0	7.8	21.3	12.0	9.8	13.4	9.3	3.4	0.9	0.9	21.2	33.9	34.7	1.2	69.8	30.2	100.0						

2020年世界農林業センサス>確報>第1巻都道府県別統計書(青森県)
II農業経営体(総数)>3経営耕地面積規模別経営体数
2020年世界農林業センサス>確報>第1巻都道府県別統計書(青森県)
自給的はIV総農家等>2経営耕地のある農家数と経営耕地面積

2020年世界農林業センサスII農業経営体(総数)>確報>
第1巻都道府県別統計書(青森県)>7経営耕地の状況
専兼業部別農家数は、令和2年度より調査項目対象外の
ためデータ無

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						備考
	農用 トラクター		コンバイン		動力田植機		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	
三戸郡田子町							
100戸当たり数量(台,頭)							
利用戸数割合(%)							

4. 主要作物作付状況

※1 農林水産省HP>統計情報>農業生産に関する統計>作物統計>面積調査>市町村別データ>令和6年(e-Stat)>耕地面積>青森県

※2 2020世界農林業センサス>確報>第1巻 都道府県別統計書(青森県)

(第7表-4)

市町村名		三戸郡田子町		作付率(%)	備考
総耕地面積(ha)		2,658			
区分		作付面積(ha)	単位面積当たり収量(kg/10a)		
田	水稻	367	559	45.3	本地面積全体 2,530 ha
	大豆	5	140	0.6	
	そば	20	34	2.5	
	小計	392		48.4	
畑	その他作物(にんにく他)	2,138	-	124.3	畑 810 ha
	小計	2,138		124.3	
	計	2,530		100.0	
市町村別延べ作付率(%)		100.0			畑 1,720 ha

5. 農業の動向

2015年農林業センサス添付CD II 農業経営体、V 販売農家、H22年産農作物統計
 2020年世界農林業センサス 専業別農家数、自営農業従事日数別農業従事者数、経営耕地の状況、農業用機械を所有している経営体数と所有台数、H27年産農作物統計

(第7表-5)

区分	項目	農 家		土 地		主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考		
		B	A	B	A	作 物 名	B	A	農 機 具 名	B	A							
変化の状況	(C年を100とする指数)	総農家数	82	65	耕地	85	57	水 稲	86	78				農 用 トラクター	86	-	【田子町】 農業振興地域 (昭和46年) 振興山村地域 (昭和42年) 過疎地域 (平成4年) 酪農近代化計画 (平成23年) 果樹濃密生産団地 平成元年 りんご・ぶどう ・なし	A:令和2年 (2020年世界 農林業センサス) B:平成27年 (2015年農林 業センサス) C:平成22年 (2010年世界 農林業センサス)
	専業農家数	78	-	田	82	61	小 麦	-	-				コンバイン	88	-			
	第一種兼業農家数	78	-	畑	73	72	大 豆	67	0				動力田植機	81	-			
	第二種兼業農家数	88	-	樹園地	66	39	そ の 他 物	94	95									
	農業従事者数	78	58	草 地	96	45												
変化の理由	農家人口の他産業への流動			農地転用等			米作より畑作へ変換			農業の機械大型化								

第 6 節 地域環境の概況

田子町は青森県の最南端に位置し、南は岩手県二戸市及び八幡平市、西は秋田県鹿角市に隣接しており、北及び東は三戸町とそれぞれ接している。

町域は総面積241.98km²の広がり有し、東西に19.6km、南北に17.0kmの扇状を成しており、総面積の約8割が山林原野で覆われている。この山並みを源とする熊原川、相米川、種子川が町を四分する形で東方に流れ、主流熊原川に合流しており、これらの流域に沿った平地に水田が拓けている。

動物は主なものとして、ニホンアナグマ、ツキノワグマ、ニホンカモシカ、ヤマネ、ニッコウムササビ、ホンドモモンガ、トウホクノウサギ、キツネノスリ、ヤマドリ、イスカ、ヤマガラ、アオバズク、キセキレイ、ムクドリ、カワセミ、イワツバメ等が生息している。

第 4 章 一般計画

第 1 節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本計画路線を整備することで、用水の安定的な供給による干ばつ防止と維持管理の省力化を図り、併せて、排水をスムーズに排除し、周辺農地の保全を図り、農作業の合理化と農業生産性の向上に資するものである。

2. 事業別面積

(第8表)

土地利用区分 事業目的	水 田 (ha)	畑						計 (ha)	備 考
		普通 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	牧 草 地 (ha)	茶 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
用 水 改 良	84.6	—	—	—	—	—	—	84.6	
排 水 改 良	14.1	1.3	—	—	—	—	1.3	15.4	
計	98.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	100.0	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本事業の実施により、営農効率の向上と農業経営の安定を図る。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

土地利用区分 区分	水 田 (ha)	畑					小 計 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶 園 (ha)	その他 (ha)						
現 況	98.7	1.3	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	
計 画	98.7	1.3	—	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	

3. 作付方式

(第9表-2)

項目	経営 類型	土地 利用 区分	1 年 目												2 年 目												3 年 目												備 考
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
現 況	水 稲 + 野 菜	水田	← 水 稲 →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
		輪換畑	← だいこん →												← にんにく →																								
		+ 畑	← とまと →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
		+ 普通畑	← えだまめ →																																				
		普通畑	← 飼料用米 →																																				
計 画	水 稲 + 野 菜	水田	← 水 稲 →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
		輪換畑	← だいこん →												← にんにく →																								
		+ 畑	← とまと →												1 年 目 に 同 じ												1 年 目 に 同 じ												
		+ 普通畑	← えだまめ →																																				
		普通畑	← 飼料用米 →																																				

4. 生産計画
該当なし

5. 労働改善計画
該当なし

第 3 節 用水計画

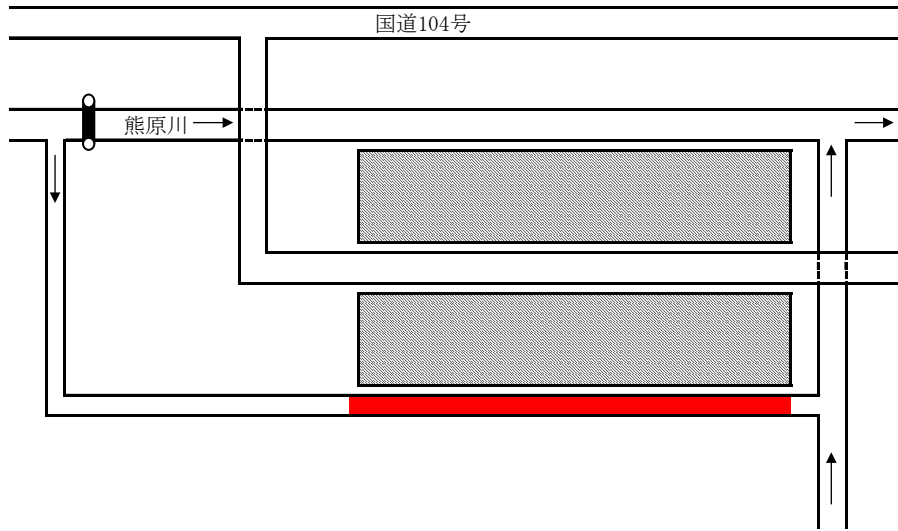
1. 計画基準年
昭和53年 (平成23年度新規 県営原・飯豊地区経営体育成基盤整備事業の諸元を採用する。)

2. 計画かんがい方式
水 稲：湛水かんがい方式 かんがい期間 5月11日～9月10日 (代掻期間 5月11日～5月25日)

3. 計画用水系統
計画用水系統図 (P. 19, 20 参照)

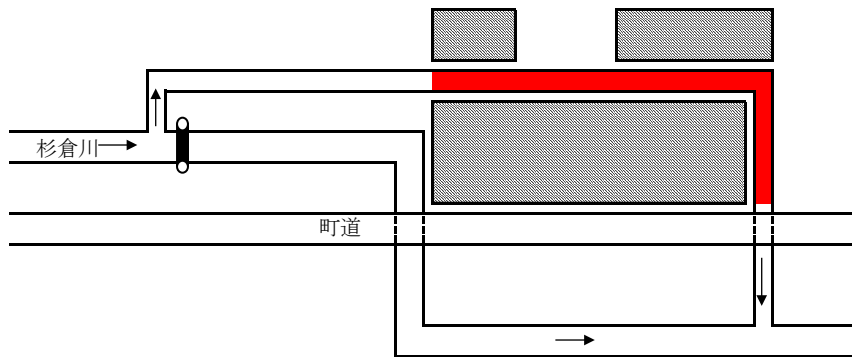
計画用水系統模式図

野面平



野面平			
水田		畑	
A	43.2 (ha)	A	-
Q1	0.272 (m ³ /s)	q1	-
Q2	0.218 (m ³ /s)	q2	-

新田向

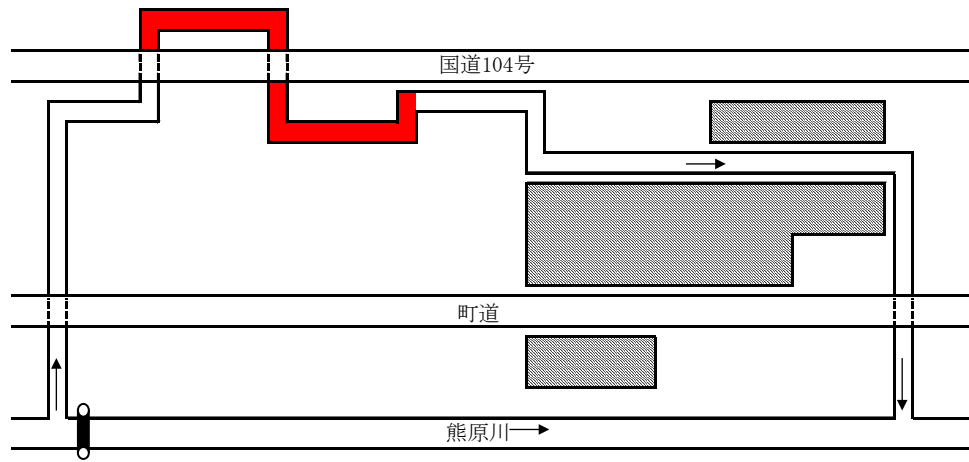


新田向			
水田		畑	
A	2.8 (ha)	A	-
Q1	0.068 (m ³ /s)	q1	-
Q2	0.014 (m ³ /s)	q2	-

凡 例			
水田		畑	
A	支配面積 (ha)	A	支配面積 (ha)
Q1	代かき期 (m ³ /s)	q1	畑の場合の24hr通水量 (m ³ /s)
Q2	普通期 (m ³ /s)	q2	畑の場合の24hr最大通水量 (m ³ /s)
	支配面積		計画水路

計画用水系統模式図

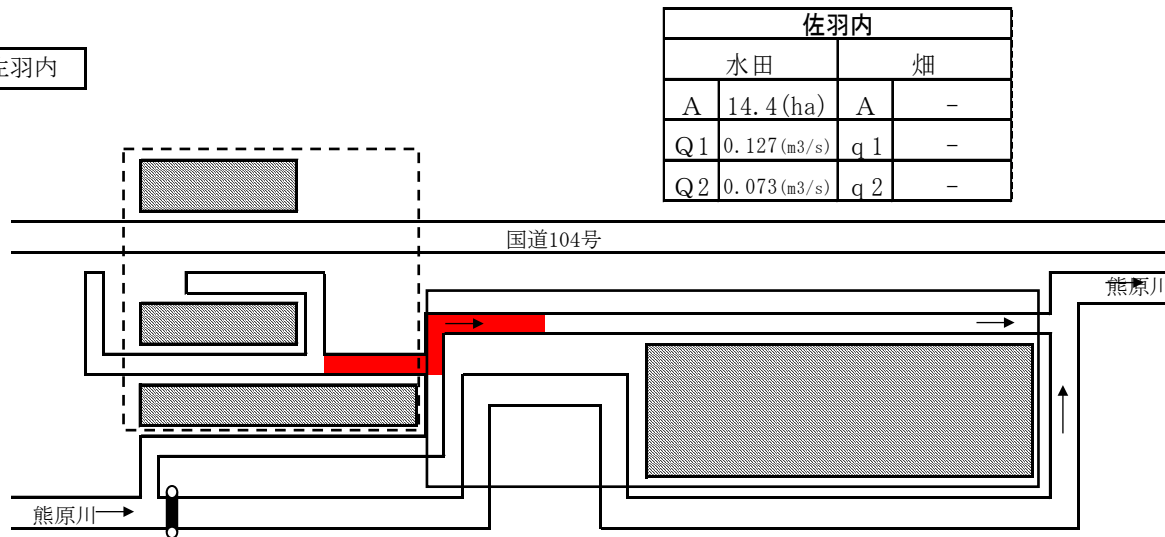
関



関			
水田		畑	
A	24.2 (ha)	A	-
Q1	0.176 (m ³ /s)	q1	-
Q2	0.122 (m ³ /s)	q2	-

凡 例			
水田		畑	
A	支配面積 (ha)	A	支配面積 (ha)
Q1	代かき期 (m ³ /s)	q1	畑の場合の24hr通水量 (m ³ /s)
Q2	普通期 (m ³ /s)	q2	畑の場合の24hr最大通水量 (m ³ /s)
	支配面積		計画水路

佐羽内



佐羽内			
水田		畑	
A	14.4 (ha)	A	-
Q1	0.127 (m ³ /s)	q1	-
Q2	0.073 (m ³ /s)	q2	-

凡 例			
水田		畑	
A	支配面積 (ha)	A	支配面積 (ha)
Q1	代かき期 (m ³ /s)	q1	畑の場合の24hr通水量 (m ³ /s)
Q2	普通期 (m ³ /s)	q2	畑の場合の24hr最大通水量 (m ³ /s)
	支配面積		計画水路
	排水路受益地		用水路受益地

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

項目 系統名	種別	面積 (ha)	水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			普通 期 計 画 平 均 量	代 か き 期 計 画 平 均 量	面 積	一 日 当 た り 計 画 深	平 均 間 断 日 数	面 積	一 日 当 た り 計 画 深	平 均 間 断 日 数	面 積	計 画 平 均 量	面 積			平 均	最 大	
			(mm/日)	(mm/日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(日)	(ha)	(mm/日)	(ha)			(m ³ /s)	(m ³ /s)	
野面平	農業用水	43.2	37.0	150	43.2	-	-	-	-	-	-	-	-	(代)0.231 (普)0.185	15.0	0.218	0.272	
新田向	農業用水	2.8	37.0	150	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	(代)0.058 (普)0.012	15.0	0.014	0.068	
関	農業用水	24.2	37.0	150	24.2	-	-	-	-	-	-	-	-	(代)0.149 (普)0.104	15.0	0.122	0.176	
佐羽内	農業用水	14.4	37.0	150	14.4	-	-	-	-	-	-	-	-	(代)0.108 (普)0.062	15.0	0.073	0.127	
計		84.6			84.6			0.0			0.0		-					

(2) 営農飲雑用水

該当なし

5. 水源計画

(1) 水利用計画
該当なし

(2) 用水対策

(ア) 貯水池
該当なし

(イ) 井堰及び自然取水口
該当なし

(ウ) 揚水機
該当なし

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)	最大通水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	備考
野面平	43.2	0.272	1,905	大型水路B1400×H1000	
新田向	2.8	0.068	480	U型側溝600	
関	24.2	0.176	171	大型水路B1500×H1000	
佐羽内	14.4	0.127	300	排水溝B700×H700	
計	84.6		2,856		

(オ) その他の水源施設
該当なし

(3) 水温水質
該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量

農用排 佐羽内 日雨量 135.6mm (1/10確率雨量) 夏坂観測所 (国交省)

2. 計画排水方式

自然排水

3. 計画排水系統

計画排水系統模式図 (P.24 参照)

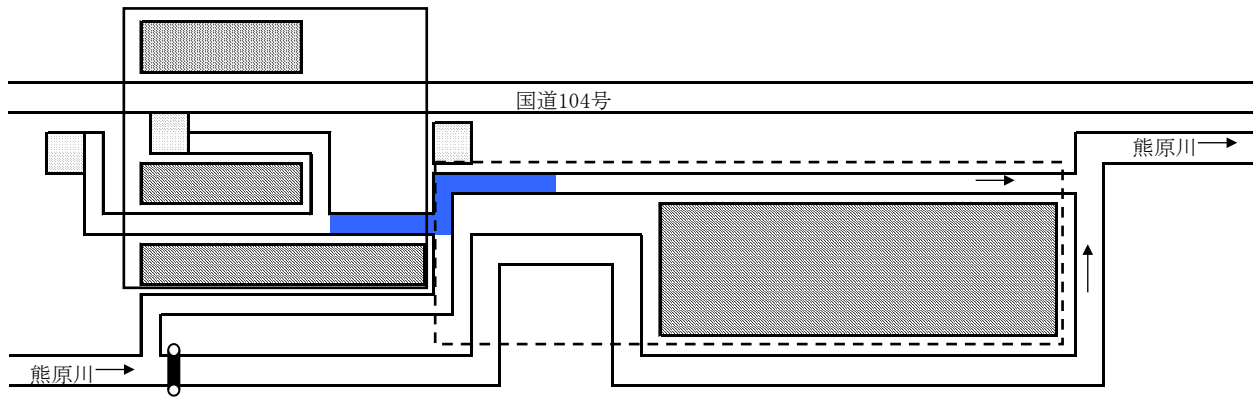
4. 計画排水量

(第 1 1 表 - 1)




排水 系統名	項目 受益 面積 (ha)	流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm)	降雨による 直接単位排出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備 考
		山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
										自然排水	機械排水			
佐羽内	15.4	-	0.164	135.6	-	2.712	-	-	-	0.445	-	-	2.712	

計画排水系統模式図

佐羽内



佐羽内	
CA	0.164(km ²)
A	15.40(ha)
Q	0.445(m ³ /s)

凡例	
CA	流域面積 (km ²)
A	支配面積 (ha)
Q	1/10計画排水量 (m ³ /s)
	流域面積
	支配面積
	計画水路
	排水路受益地
	用水路受益地

5. 排水対策

(1) 排水水門
該当なし

(2) 排水機
該当なし

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)	計画排水量 (m ³ /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
佐羽内	0.164	15.4	0.445	300	排水溝B700×H700	熊原川	-	-	

(4) その他
該当なし

6. たん水検討
該当なし

第 5 節 道路計画

1. 道路
該当なし
2. 路線配置図
該当なし

第 6 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量
該当なし
2. 計画洪水量及び調節量
該当なし
3. 貯水池
該当なし
4. 洪水調節検討
 - (1) 河川改修計画との関係
該当なし
 - (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響
該当なし
 - (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討
該当なし

5. 管理計画

- (1) 管理機構
該当なし
- (2) ダム管理操作上の各種基準
該当なし
- (3) 洪水調整要領
該当なし

第 7 節 農用地整備計画

1. 区画整理

- (1) 区画の形状
該当なし
- (2) 表土扱い
該当なし
- (3) 末端道水路配置図
該当なし

2. 暗渠排水

- (1) 暗渠排水
該当なし
- (2) 心土破碎
該当なし

3. 客土
該当なし

4. 農地保全

(1) 防災林
該当なし

(2) 排水工
該当なし

(3) 浸食（崩壊）防止工
該当なし

第 8 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量
該当なし

(2) 計画洪水量
該当なし

2. 堤体補強計画
該当なし

3. 取水施設改修計画
該当なし

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池
該当なし

2. 頭首工
該当なし

3. 揚水機
該当なし

4. 用水路

(第 15 表 - 4)

水路名	項目 受益面積 (ha)	通水量 (m ³ /s)	延長			構造	勾配	主要構造物	備考
			開きよ	トンネル その他	計				
野面平	43.2	0.272	1,905m	-	1,905m	大型水路 B1400×H1000	1/400	-	
新田向	2.8	0.068	480m	-	480m	U型側溝600	1/200	-	
関	24.2	0.176	171m	-	171m	大型水路 B1500×H1000	1/150	-	
佐羽内	14.4	0.127	300m	-	300m	排水溝 B700×H700	1/300	-	
計	84.6		2,856m	-	2,856m				

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当なし

2. 排水機

該当なし

3. 排水路

(第 16 表 - 3)

水路名	項目 受益面積 (ha)	排 水 量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主 要 構 造 物	備 考
			開きよ	トンネル その他	計				
佐 羽 内	15.4	0.445	300	—	300	排水溝 B700×H700	1/300	—	

4. その他排水施設

該当なし

第 3 節 道 路

1. 道路の総括表
該当なし
2. 道路主要構造物
該当なし

第 4 節 洪水調節施設

1. 貯水池
該当なし
2. 頭首工及び導水路
 - (1) 頭首工
該当なし
 - (2) 導水路
該当なし

第 5 節 農用地整備施設

1. 区画整理
該当なし
2. 暗渠排水
 - (1) 暗渠排水
該当なし
 - (2) 心土破碎
該当なし
3. 客 土
該当なし
4. 除 礫
該当なし

5. 農地保全

- (1) 防災林
該当なし
- (2) 排水路
該当なし
- (3) 浸食防止工
該当なし

第 6 節 老朽ため池改修施設

- 1. 貯水池
該当なし
- 2. 堤体補強施設
 - (1) 法面保護施設
該当なし
 - (2) 漏水防止工
該当なし

第 6 章 附帯工事計画 該当なし

第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

着 手	平成	30	年度
完 了	令和	11	年度

第 8 章 環境との調和への配慮

事業の実施に当たっては、水路法面に現場発生土を使用することで在来植物の定着を促進し、動植物の生息環境及び景観の保全を図る。また、水路内に小動物脱出スロープを設置し、生態系の保全・再生を図るほか、水路の基礎材には再生砕石を使用し、限りある資源を有効活用することにより環境への負荷の軽減を図る。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方
該当なし

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称・所在・面積
該当なし

2. 換地区を設定する理由
該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準
該当なし

2. 用途別予定地積
該当なし

3. 農用地集団化の方針
該当なし

4. 非農用地換地の方法
該当なし

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法
該当なし

2. 清算の方法
該当なし

第 5 節 換地計画樹立の年度計画
該当なし

第 1 0 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 2 表)

区 分		事 業 費 (千円)	備 考
工 事 費		535,765	令和 7 年度単価
事 務 的 経 費		26,791	
計		562,556	
関 連 事 業 (参 考)	農道整備		令和 7 年度単価
	工 事 費	671,043	
	事 務 的 経 費	33,552	
	計	704,595	

第 1 1 章 効 用

(第 2 3 表)

区分 \ 項目	年総効果(便益)額 (千円)	年増加農業所得額 (千円)	備 考
作物生産効果	70,929	70,541	食料の安定供給の確保に関する効果
営農経費節減効果	△ 7,895	△ 7,895	食料の安定供給の確保に関する効果
維持管理費節減効果	△ 8,624	△ 1,663	食料の安定供給の確保に関する効果
国産農産物安定供給効果	6,097	-	食料の安定供給の確保に関する効果
計	60,507	60,983	令和 7 年度単価

< 参 考 >

総 費 用 : 1,147,810 千円
 総 便 益 額 : 1,515,987 千円
 総費用総便益比 : 1.32

第 1 2 章 関連する事業

(第 2 4 表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容
異 種	アグリタプコピア地区 中山間地域総合整備事業 (農道整備)	青森県	60.2	・ 農道整備工 L=3,045m

第 1 3 章 現況・計画図面

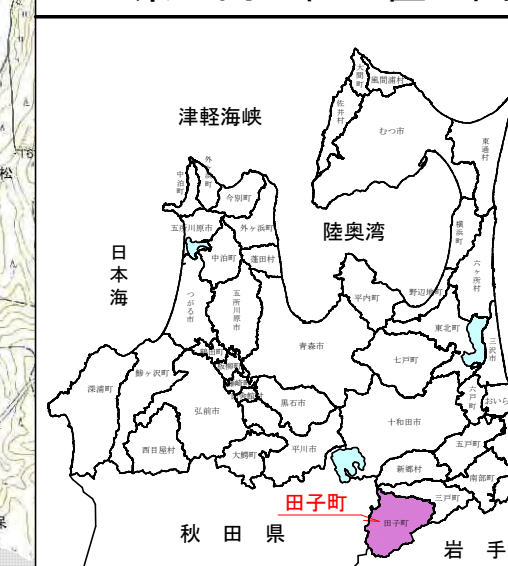
- 1. 現況平面図 別 添
- 2. 計画平面図及び土地利用計画図 別 添
- 3. 主要構造図 別 添

アグリタプコピア地区 中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

現況平面図

縮尺 1 : 50,000

県内位置図



番号	工種	路線名	延長(m)	備考
①	農用	野面平	1,905 m	
②	農用	新田向	480 m	
③	農用	関	171 m	
④	農排	佐羽内	300 m	
農業用排水計			2,856 m	

凡例	
名称	記号
農業用水路	○—○
農業排水路	○—○
水田	■
畑	■
市町村界	---
国道	—
主要地方道、県道	—
その他の農道	—
主な市町村道	—

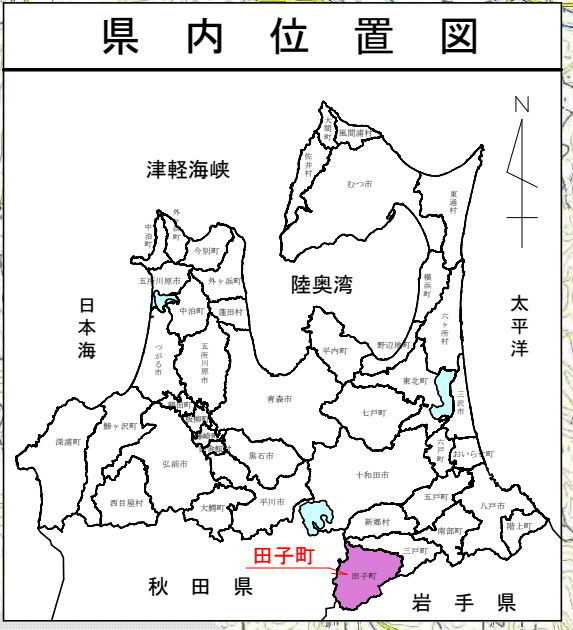
県営アグリタプコピア地区中山間地域総合整備事業
図面の名称 図面番号

現況平面図	1
縮尺図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	原図
	複写

アグリタポピア地区 中山間地域総合整備事業（農業用排水施設整備）

計画平面図及び土地利用計画図

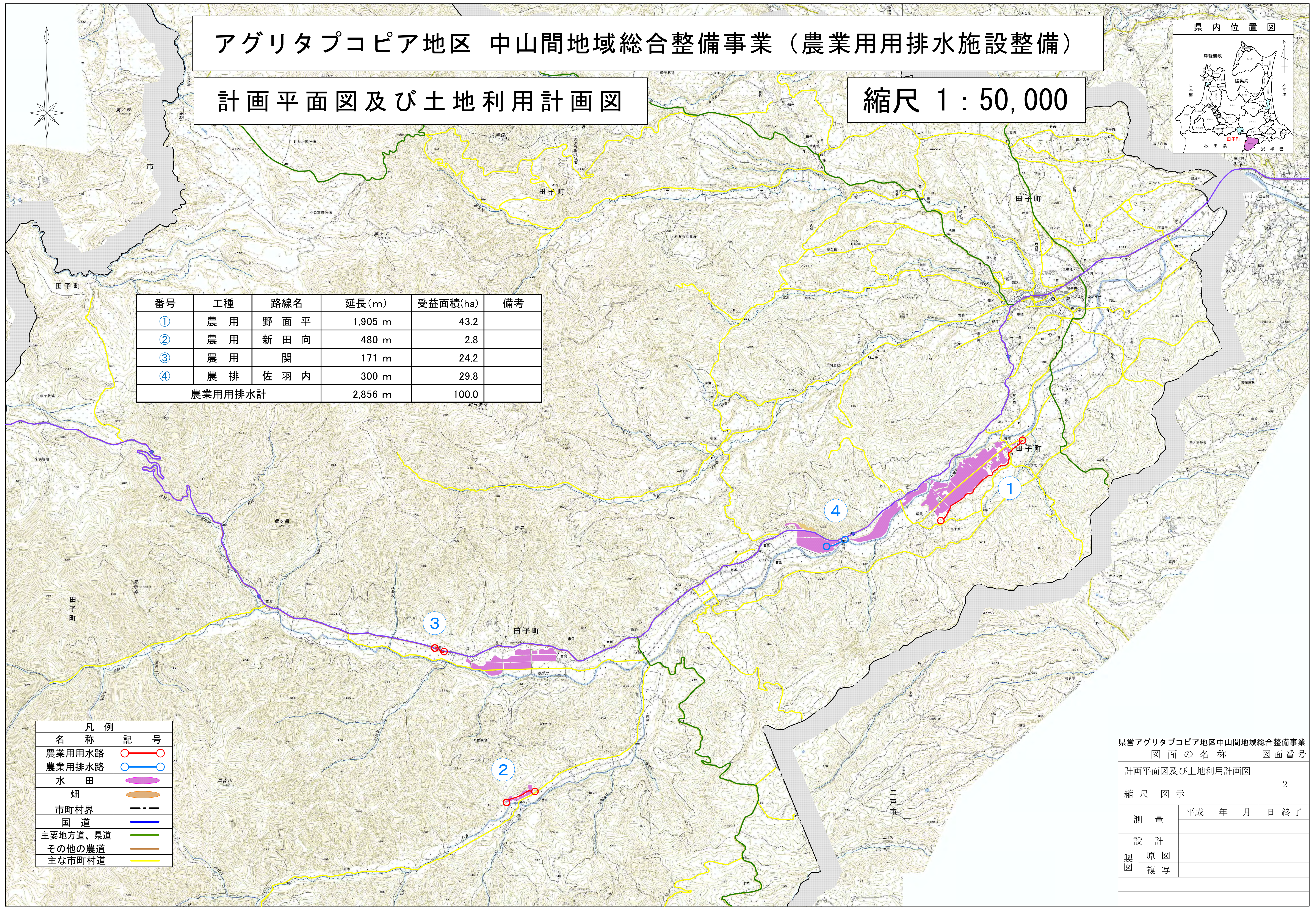
縮尺 1 : 50,000



番号	工種	路線名	延長(m)	受益面積(ha)	備考
①	農用	野面平	1,905 m	43.2	
②	農用	新田向	480 m	2.8	
③	農用	関	171 m	24.2	
④	農排	佐羽内	300 m	29.8	
農業用排水計			2,856 m	100.0	

凡例	
名称	記号
農業用水路	○—○
農業用排水路	○—○
水田	■
畑	■
市町村界	---
国道	—
主要地方道、県道	—
その他の農道	—
主な市町村道	—

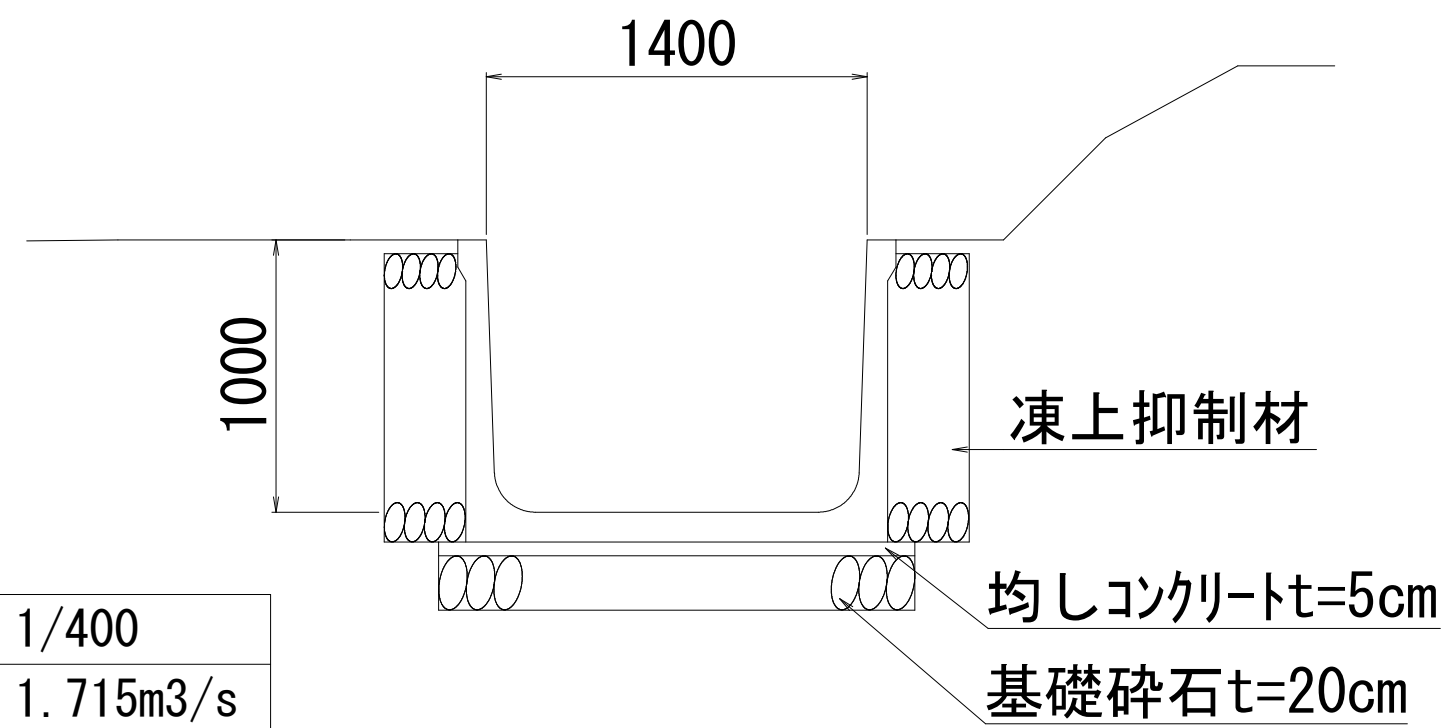
県営アグリタポピア地区中山間地域総合整備事業	
図面の名称	図面番号
計画平面図及び土地利用計画図	2
縮尺図示	
測量	平成 年 月 日 終了
設計	
製図	原図
	複写



主 要 構 造 図

①農用排：野面平

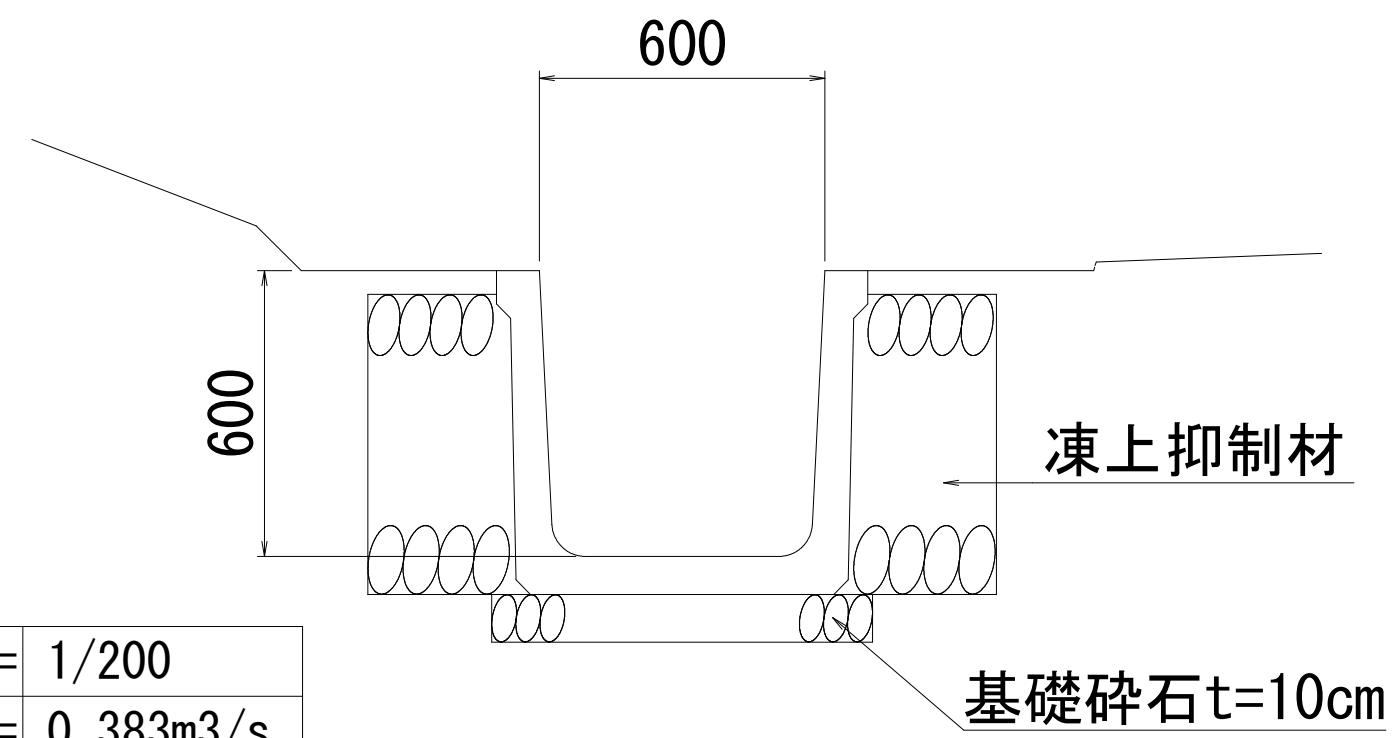
大型水路 B1400×H1000



I=	1/400
Q=	1.715m ³ /s
V=	1.811m/s
1/10H=	0.706m

②農用排：新田向

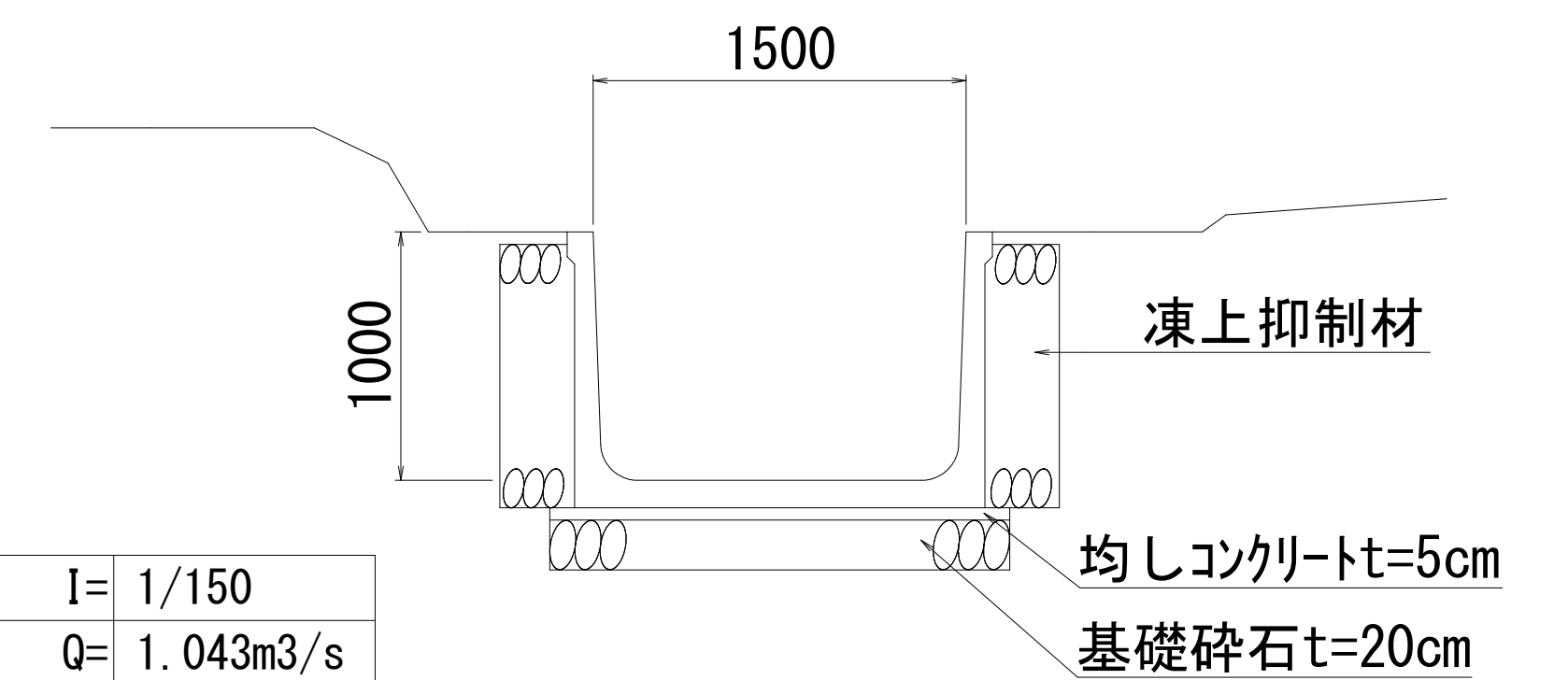
U型側溝600



I=	1/200
Q=	0.383m ³ /s
V=	1.597m/s
1/10H=	0.430m

③農用排：関

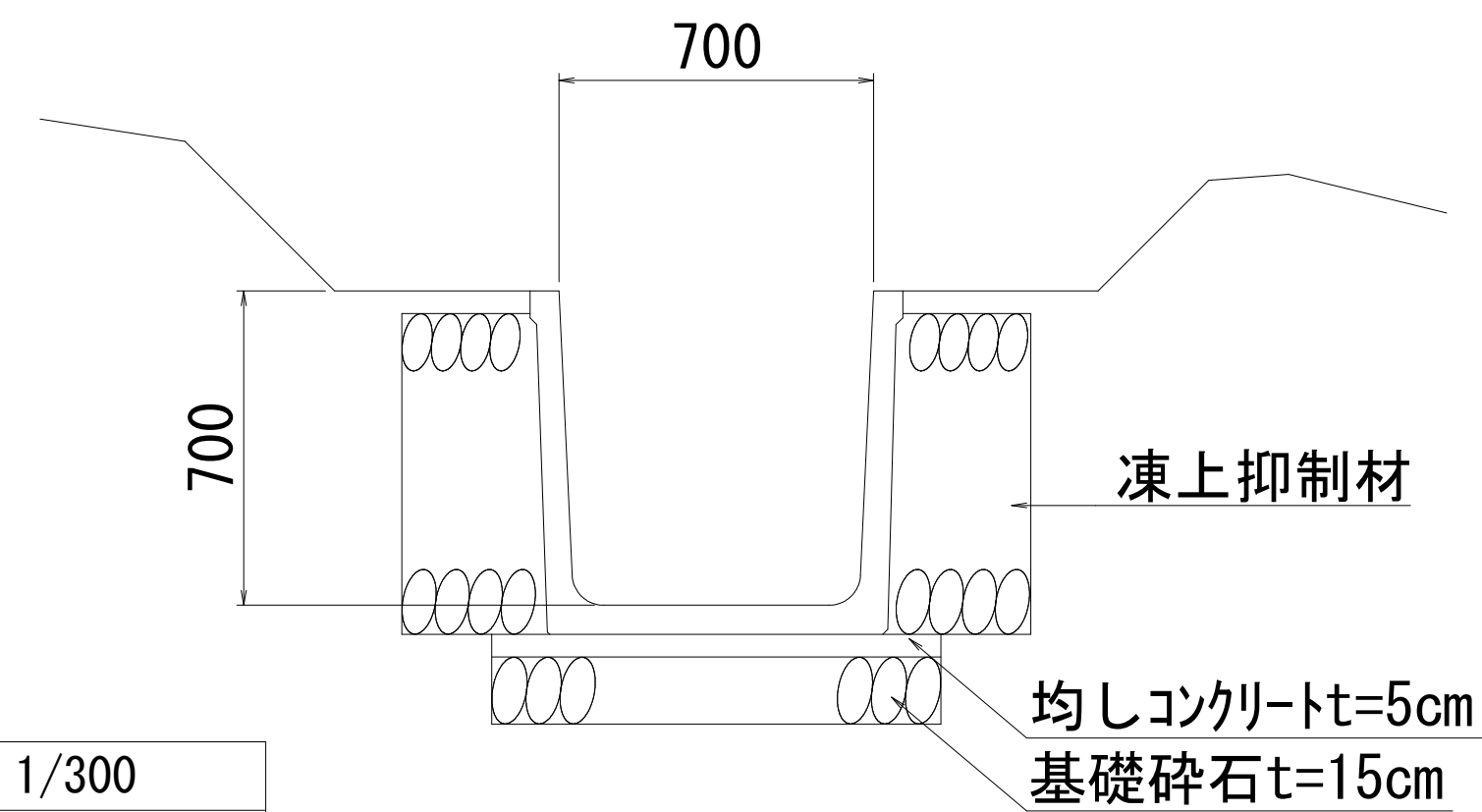
大型水路 B1500×H1000



I=	1/150
Q=	1.043m ³ /s
V=	2.232m/s
1/10H=	0.330m

④農用排：佐羽内

排水溝 B700×H700



I=	1/300
Q=	0.445m ³ /s
V=	1.425m/s
1/10H=	0.474m

県営アグリタポピア地区中山間地域総合整備事業

図面の名称		図面番号
主要構造図		3
縮尺 Non Scale		
測量	平成 年 月 日 終了	
設計		
製図	原図	
	複写	